

高い場所から落ちて足を骨折したり、交通事故に巻き込まれて重傷を負ったりして動物病院に運ばれる犬が増えてきているように感じます。

これまでなら、歩行をあきらめざるをえないケースも多かったのですが、近年は獣医療の技術発展により、高度な整形外科治療が可能になっています。

それに伴い、手術後のリハビリテーションを行う動物病院も増えています。治療中に低下した筋力を元の状態に近づけたり、弱った関節の周りを補う筋肉を付けたりすることで、日常生活の質をできるだけ落とすことなく、元気に過ごせるようにするためで



犬のリハビリテーション

す。

では、犬のリハビリはどのように行われるのでしょうか。方法は、温水を歩かせたり、泳がせたりすることが中心で、人間とあまり変わりません。最近では、お湯が入ったウォーキング専用のプールなど足腰に負担をかけずに機能回復を図る施設を併設した動物病院や専門施設も登場しています。陸上では立つことができない犬も、水の浮力により立つことができ、歩く感覚を取り戻せるようです。

リハビリは、獣医師が付き添い、指導を行うことが基本

です。

今後、獣医師に代わり、知識のあるスタッフらが指導する施設が増えてくればリハビリが身近になり、多くの犬が機能を回復できる可能性もあります。

獣医師の適切な指導を受けた上であれば、マッサージなど飼い主が家庭でできることもあります。

ただ、誤った方法で行うと、かえって症状を悪化させてしまう危険もあるので注意が必要です。

(アニコム損保

獣医師 杉浦弘明)